

平成30年度学校評価 「自己評価票」

学校名 北海道伊達緑丘高等学校

1 本年度の重点目標

1	知性を磨き教養を深め、広い視野をもって物事の本質を捉えることのできる能力を養う。
2	豊かな個性を育むとともに、しなやかな感受性と互いに尊重する人間性を養う。
3	真摯な態度と公正な判断力を培い、自らを深く省察する態度を養う。
4	強靱な気力、体力の充実に努め、困難に進んで立ち向かう自信と勇気ある態度を養う。
5	先人が築きし不易なる伝統文化への理解を深め、守り受け継ぐ態度を養う。

2 本年度の経営方針

1	自ら学ぶ意欲の向上など主体的学習姿勢の醸成を図り、基礎基本から探求・活用に至る学力の向上など、	学びを実感できるような教育課程の実践をめざす。
2	継続性のあるキャリア教育を進め、進路目標立案から実現までのプロセスをきめ細かく丁寧な指導助言	に努め、豊かな社会形成に寄与する人材育成をめざす。
3	生命の尊重と真心・敬愛にもとづく、やさしく調和のとれた人間性を育むとともに、心身ともに健康で	明るく澁刺とした校風の発揚をめざす。
4	特別支援教育の理解を進め、個人の尊厳と教育的ニーズに応じた組織的支援ができる学校をめざす。	
5	家庭や地域、関係機関等との連携を進めるとともに、教職員が自らの資質・能力を高め、優れた教育活	動を行うことができる期待と信頼に応える学校をめざす。
6	学習環境の条件整備に努めるとともに、様々な危機管理能力の高い安心安全な学校をめざす。	

3 自己評価 「A＝十分である」、「B＝概ね十分である」、「C＝不十分である」、「D＝改善を要する」

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策
学校経営 教育目標	今年度の学校経営方針・シラバスに則って教育を展開していますか。	B	B	次年度より分掌・学年体制を変更し、特に各分掌の企画力・実践力の向上を図る。
	分掌や学年各種委員会等が組織的・有効的に機能していますか。	B	B	
資質向上 服務規律	効果的な研修計画を立案し、研修の成果の共有・実践ができていますか。	B	B	目前に迫った高大接続改革や新学習指導要領の実現に向け、具体的な成果が出る体制づくりを進める。
	法令遵守・服務規律の保持に係り、適正な勤務管理に努めていますか。	A	A	
教育課程 学習指導	3コース制の教育課程は生徒の個性伸長や進路実現に機能していますか。	B	B	入学してくる生徒の変化やこれからの学校のあり方を踏まえ、教育課程の見直しを図る。
	授業改善を進め、生徒の学習意欲の向上立を図っていますか。	B	B	
特別活動	学校行事やHR活動・部活動等の充実に向けた指導が十分ですか。	A	A	学校の変革をを踏まえ、行事や部活動の在り方の検討を進める。
生徒指導 いじめ	その場に応じた適切な生徒対応・生徒指導に努めていますか。	B	B	生徒の自己有用感や自己肯定感を高めることにより、いじめの減少ときめ細やかな生徒指導を目指す。
	いじめの根絶に向けて、厳しくも温かい指導を図っていますか。	B	B	
教育相談 保健安全	カウンセリングや教育相談体制を整備し、生徒の状況把握に努めていますか。	A	A	現状に満足せず、更に生徒の学校生活の向上につながる相談活動を進めていく。
	生徒の健康管理に関わる取組は適切に実施されていますか。	A	A	
キャリア教育 進路指導	キャリア教育は3年間を見通し計画的・組織的に行われていますか。	B	B	有用な情報の提供に努め、保護者との連携を密にし、早い段階からのキャリア形成に資する指導を進める。
	進路実現に向けて、生徒・保護者に対する適切な助言や具体的な指導を行っていますか。	B	A	
特別支援教育	特別支援を必要とする生徒への指導体制が適切に整備されていますか。	A	A	専門機関等との一層の連携を図る。
施設設備	校舎内外の環境整備に努め、施設設備の安全・安心の確保を図っていますか。	B	B	点検活動の充実。
連 携 情報発信	保護者や地域住民との積極的な連携・交流に努めていますか。	A	A	ホームページの内容充実を図る。
	日ごろの教育実践を保護者や地域住民にわかりやすく伝えていきますか。	B	B	

4 自己評価における特記事項

○生徒指導面では、特別活動や安全教育、教育相談活動の充実によって安定した学校生活を送らせることができたが、今後は、基礎学力や進路に対応した学力をはじめとして、そこからさらに、社会で生きていく力をどのように身につけさせるかが本校の一番の課題である。 ○合併問題等があり、学校をめぐる落ち着いた部分もあるが、職員の研修活動の充実により指導力の向上を図り、生徒の学校生活の充実に努めていくことが肝要である。
